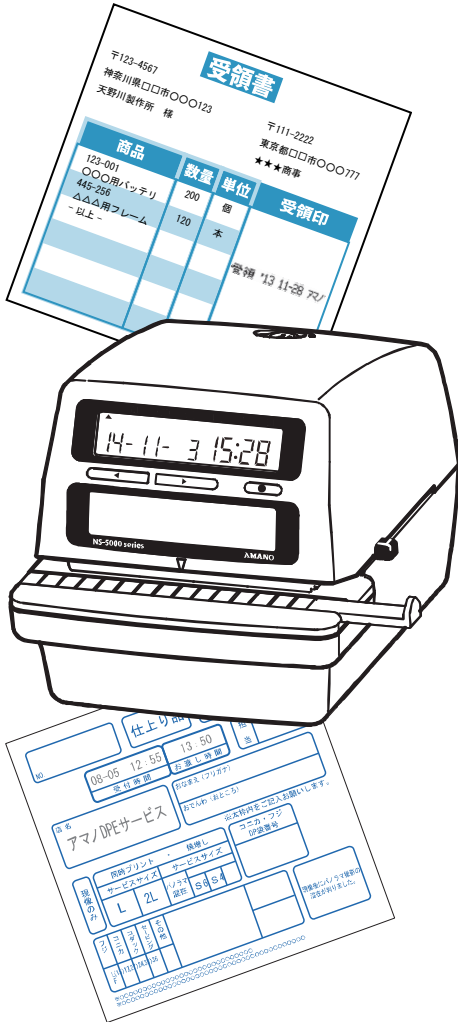


# AMANO

## 電子タイムスタンプ

# NS-5000series

## 取扱説明書



### タイムレコーダー サポート&サービス

取扱説明書、お問い合わせ、  
チャットボットのご利用は  
こちらからご確認ください。



<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

※ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

※この取扱説明書は必ず保管してください。

## 目次

1	はじめに	
2	重要安全情報.....	1
3	安全にお使いいただくために.....	2
4	各部の名称とはたらき.....	4
5	設置上の注意.....	5
	設置場所の注意.....	5
	設置のしかた.....	5
	緩衝材の取り外しかた.....	5
	サイドガイドの取り付け方法.....	6
	上ケースの開けかた.....	7
	上ケースの閉めかた.....	7
	プラテンシートの取り付けかた.....	8
6	電源について.....	10
7	使い方.....	11
	印字位置の合わせかた.....	11
	印字のしかた.....	12
	表示について.....	13
8	設定のしかた.....	14
	設定項目と初期値.....	14
	設定の準備.....	15
	設定項目.....	15
	用語説明.....	15
	年月日の合わせかた.....	16
	時刻の合わせかた.....	17
	印字種類の選択のしかた.....	18
	印字種類表.....	19
	印字方向の選択.....	22
	文字選択(文字種)設定.....	23
	印字幅の設定.....	26
	ナンバーの設定.....	27
	ナンバリング自動機能設定(NS-5100)....	28
	ナンバリングリピートの設定(NS-5100)..	30
	カウンターの設定(NS-5100).....	31
	カウンターの自動機能設定(NS-5100)....	32
	印字方法の選択.....	34
	サマータイムの設定.....	35
9	こんなときには.....	39
	故障かなと思ったら.....	39
	よくあるご質問 Q & A.....	40
	エラーコードと対処法.....	41
10	印字が薄くなってきたら.....	42
	(リボンカセットの交換)	
11	付録.....	44
	日頃のお手入れ.....	44
	製品仕様.....	45
	消耗品・別売品.....	45
	製品保証とアフターサービス.....	46



# 1 はじめに

このたびは、電子タイムスタンプ NS-5000 シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

NS-5000 シリーズは伝票や用紙に日付やナンバーを印字する装置です。

NS-5000 シリーズを安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書は必ずお読みください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

## 製品の保証登録のお願い

アマノではご購入いただきました対象製品について、保証登録をしていただくことで、サポートセンターへのお問い合わせや製品の保証期間内の無償保証、メンテナンスサービスを提供しております。

お手数ですが保証登録をお願いいたします。

詳しい内容は、以下 URL の製品保証登録サイトをご覧ください。

## ご登録方法

---

### ■インターネットでの登録

下記のURLにアクセスし、入力フォームから登録してください。

(URL) [https://www.amano.co.jp/Tr/register/index\\_regist.html](https://www.amano.co.jp/Tr/register/index_regist.html)



お預かりしましたお客様の個人情報は、今後弊社が取り扱う製品やサービスのご紹介、これらに関する展示会・セミナー等各種イベントのご案内に利用させていただき、お客様の許可なく第三者に提供等いたしません。

## 製品保証、アフターサービスについてのお問い合わせ

---

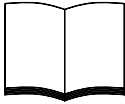

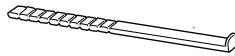



タイムレコーダー・サポートセンターへのお問い合わせは、下記URL または QR コードの [お問い合わせ] ボタンよりお問い合わせいただけます。

【サポート&サービス】

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>



## 付属品をお確かめください

取扱説明書(本書)1部 	カギ1組(2本) 	サイドガイド1本 (印字位置ガイド) 
サポート&サービス 案内シール1枚 	プラテンシート1枚 	サンプル用紙1枚 (B6版、厚さ:0.075mm) 

## 製品ご利用時の注意点

NS-5000 シリーズは設置環境が悪いと正常に使えなくなることがあります。  
屋外や雨水のかかるところでのご使用は避けてください。

## 取扱説明書ご利用時の注意点

製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合があります。

## モデルごとの機能一覧

	印字種類	印字方向	文字選択	印字幅設定	ナンバー	ナンバリング自動機能	ナンバリングリピート	カウンター	カウンター自動機能	印字方法	ユーザーフォーマット	フルパワーリザーブ
NS-5000	○	○	○	○	○					○		△
NS-5100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△

△：オプション

- ・文字選択で NS-5100 は月、ゼロの種類、ゼロサプレス機能の設定ができます。(23~25 ページ参照)
- ・NS-5100 は 91 パターンの印字種類以外に任意の印字文字パターンを 2 種類 (ユーザーフォーマット 1、ユーザーフォーマット 2) 設定ができます。(有償オプション)
- ・停電時印字機能「フルパワーリザーブ」(工場オプション) を用意しています。

## 2 重要安全情報

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みください。



### 警告

誤った取り扱いをすると感電等による死亡または重傷を負う危険性あるいは火災等の発生が想定される操作・説明では、この警告マークを付記します。

《補足》重傷とは失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。



### 注意

誤った取り扱いをすると火災・感電・けが等、使用者が傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される操作・説明では、この注意マークを付記します。

《補足》傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。  
物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 《電源に関する注意事項》

- 電源はAC100V（50/60Hz）です。安定した電源・電圧のもとでご使用ください。
- タイムスタンプの電源は終夜電源にし、他の機器電源と独立させてください。
- 本機はリチウム電池を内蔵しています。停電になっても内部時計は歩進しています。ただし、停電時はタイムスタンプの印字はできません。

### 《上ケースを開ける場合の注意事項》

- 上ケースを開けてリボンカセット交換等を行うときは、スチールデスクなどの大きな金属に触れて静電気を取り除いてから作業してください。故障等の原因となることがあります。

### ■絵表示の例■



高温注意

△記号は警告や注意を示します。具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為を示します。具体的な禁止内容は⊘の中に絵で示します。



プラグを抜く

●記号は強制する行為を示します。具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

### 3 安全にお使いいただくために

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みのうえ、お守りください。

#### 警告



定格電圧外禁止

- ・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。  
火災、感電の原因となります。



タコ足配線禁止

- ・電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。  
火災、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。  
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。



改造禁止

- ・本機を改造しない。  
火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・本取扱説明書で取り外す手順を説明した部位以外は、分解したり触れたりしない。  
内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



定期清掃

- ・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取る。  
ほこりがたまり、火災の原因となります。



スプレー禁止

- ・可燃性のスプレー(ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど)を噴霧しない。  
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・有機溶剤(ベンジン、シンナー、除光液など)を使用しない。  
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

## ⚠ 注意



設置場所

- ・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。  
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



禁止

- ・ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。  
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- ・本機の上に水の入った容器やピンなどの金属物を置かない。  
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。  
火災、感電の原因となることがあります。



プラグを持って  
抜く

- ・電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・リボンカセットを交換するときは、上ケースを外した後、電源プラグをコンセントから抜く。  
そのまま交換するとけがや感電の原因になることがあります。



プラグを抜く

- ・本機を移動させる場合は、電源プラグを抜く。  
電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



高温注意

- ・高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因になることがあります。

## 4 各部の名称とはたらき

### 表示器

通常は曜日、日付、時刻、番号など設定した印字種類を表示します。

### タッチボタン (右)

手動印字設定の場合、ここを押すと文字を印字します。

（ユーザーフォーマット1または2を使い分ける場合は、ユーザーフォーマット1の文字を印字します。）

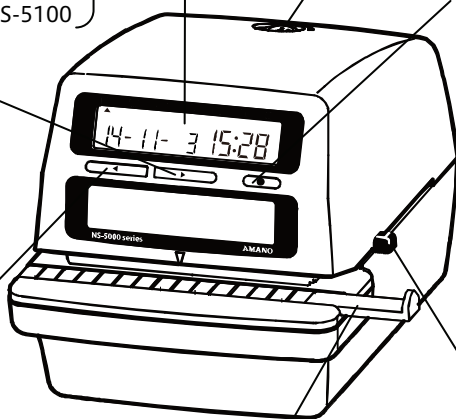
NS-5100

### カギ

付属のカギを差し込み、右に90°回すと上ケースが外せます。

### 表示切り替えボタン

3秒以上押し続けると時計表示の12時制、24時制の切り替えをします。(13ページ参照)



### タッチボタン (左)

手動印字設定の場合、ここを押すと文字を印字します。

（ユーザーフォーマット1または2を使い分ける場合は、ユーザーフォーマット1の文字を印字します。）

NS-5100

### 印字位置ストッパー(奥行きガイド)

前後に移動して用紙を差し込む位置を決めます。自動印字設定の場合、用紙が差し込まれたことを検知して印字します。

初期設定では、タッチボタンを押す手動印字と、印字位置ストッパーによる自動印字の、どちらでも印字します。(12ページ参照)

### サイドガイド

サイドガイドを使うと、印字するときに用紙の横方向の位置を決めることができます。横方向の位置決めが不要なときは、サイドガイドを裏面にセットします。



## 5 設置上の注意

### 設置場所の注意

⚠ 注意 故障の原因となりますので、次のような場所に設置しないでください。



直射日光、熱源のそばには設置しない。

禁止



雨水のかかる場所には設置しない。

水ぬれ禁止



強い振動、衝撃を機器に与えない。

禁止



腐食性ガス、蒸気、塩害のある場所には設置しない。

禁止



調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があがるような場所、ほこりの多い場所やゴミブリなどがある場所に置かない。

禁止

### 設置のしかた

⚠ 注意

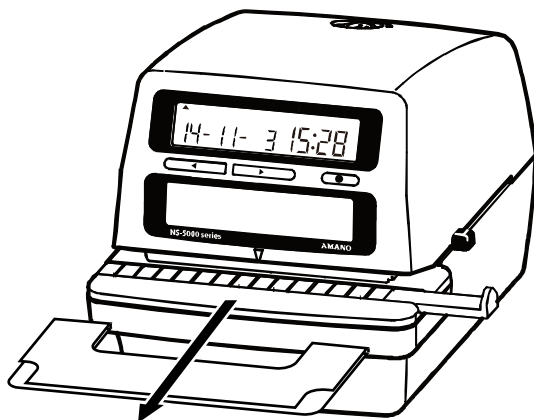


ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。  
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。

禁止

### 緩衝材の取り外しかた

用紙挿入スペースにある緩衝材を引き抜いてからご使用ください。



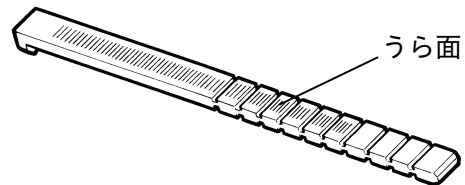
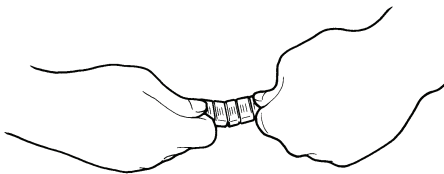
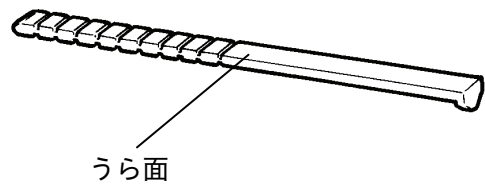
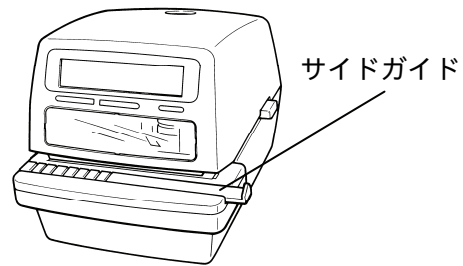
## サイドガイドの取り付け方法

・サイドガイドを使うと、印字するときに用紙の横方向の位置を決めることができます。横方向の位置決めが不必要なときは、サイドガイドを裏面にしてセットします。

・サイドガイドをセットして、サイドガイドが飛び出す場合は、ご使用される長さに合わせてカットします。

・カットのしかた

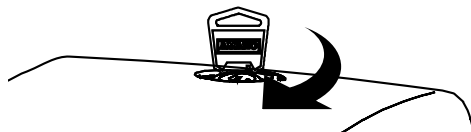
サイドガイドの裏面を谷にして折ります。サイドガイドを折った後は切り口を確認し、切り口が鋭くなって危険なときは、カッター等で削ってください。



## 上ケースの開けかた

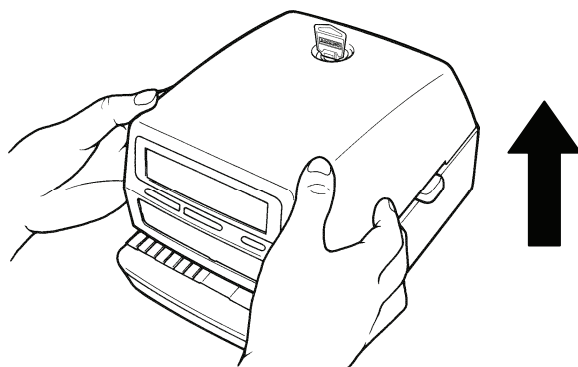
### 1 カギを回します

付属のカギを錠に差し込み、右に 90° 回します。



### 2 上ケースを持ち上げます

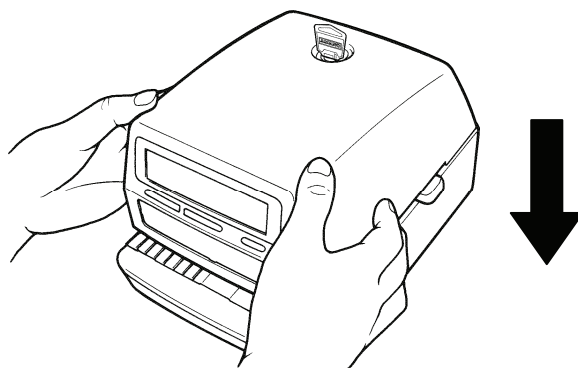
上ケースを持ち上げると、本体から外れます。



## 上ケースの閉めかた

### 1 上ケースをかぶせます

上ケースをかぶせるときは、カギを右に回したまま、上からかぶせて上ケースと本体をはめこみます。



### 2 カギを閉めます

カギを左に 90° 回して施錠します。



# プラテンシートの取り付けかた(薄い用紙に印字する場合)

## 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 注意



プラグを抜く

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



高温注意

- ・高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因になることがあります。

タイムスタンプ NS-5000 シリーズをご使用になる前に、付属しているレモン色のサンプル用紙(厚さ:0.075mm)で、印字する用紙の厚さをご確認ください。

用紙の厚さが0.075mmより薄い用紙に印字する場合には、あらかじめ NS-5000 本体に付属の「プラテンシート」を取り付ける必要があります。

「プラテンシート」を取り付けずに、薄い用紙に印字を繰り返した場合、印字ヘッドの損傷やそれによりインクリボンが破れる等の故障につながるおそれがあります。

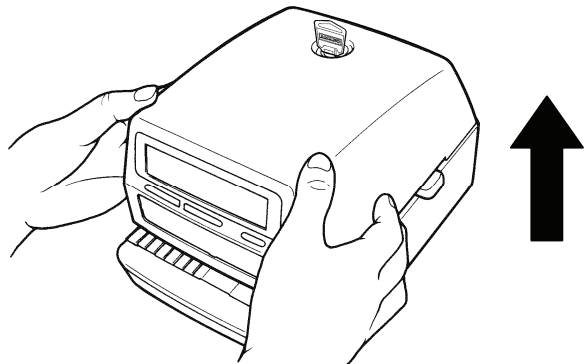
万一、「プラテンシート」を取り付けてもインクリボンが破れる等の問題が発生した場合には、弊社タイムレコーダー・サポートセンターにご相談ください。

## 1 上ケースを開けます (7 ページ参照)

付属のカギを錠に差し込み、右に 90° 回します。



上ケースを持ち上げると、本体から外れます。



## 2 電源プラグを抜きます

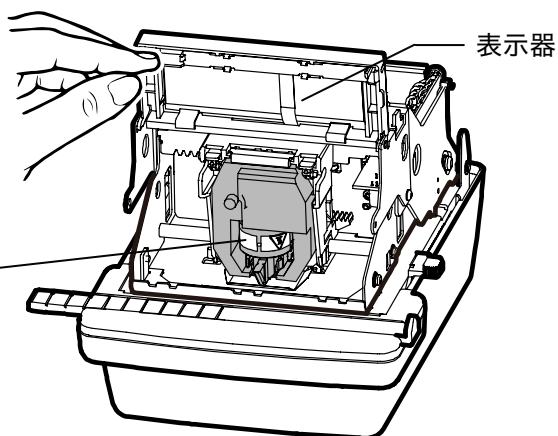
### 3 表示器を上を持ち上げます

上ケースを外した後、表示器を上を持ち上げます。



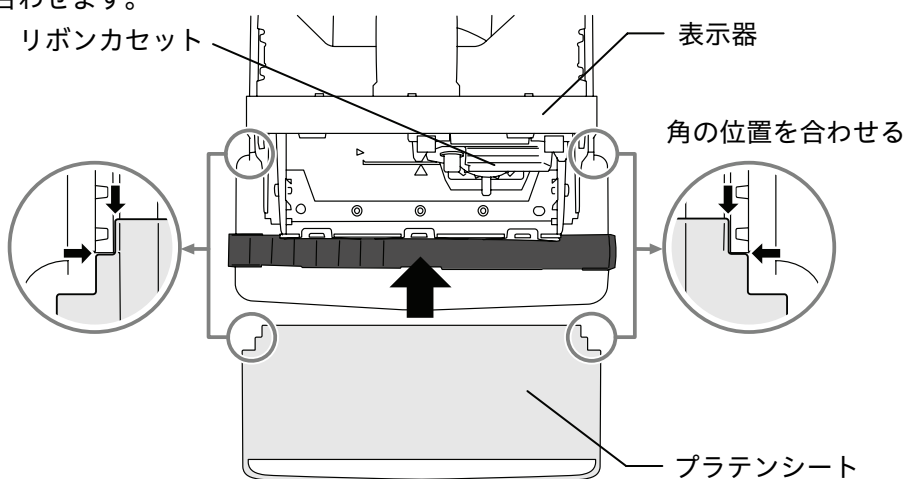
高温注意

印字動作により  
高温になる部分

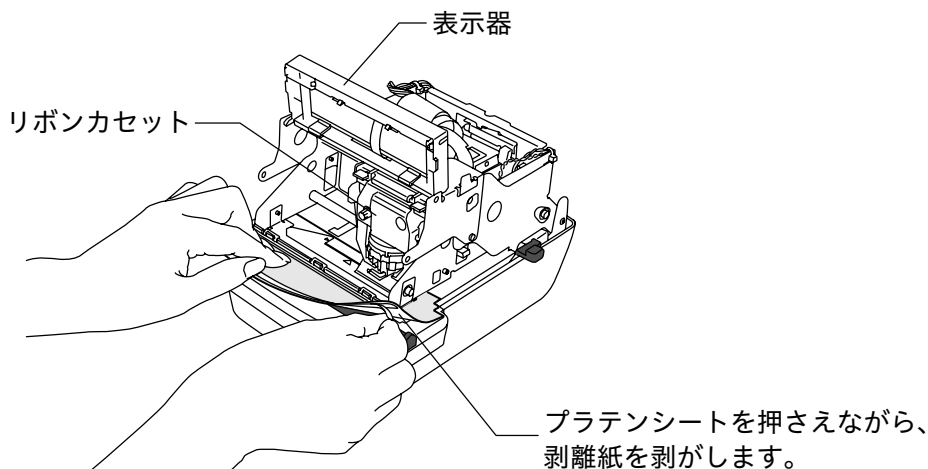


### 4 プラテンシートの位置を合わせます

プラテンシートの裏面の黄色い剥離紙を剥がし、用紙を挿入するように差し込んで角の位置を合わせます。



### 5 プラテンシートを貼り付けます



### 6 表示器を下げ、上ケースを閉めます (7 ページ参照)

### 7 電源プラグをコンセントに差し込みます

## 6 電源について

### 警告



定格電圧外禁止

- ・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。  
また、タコ足配線をしない。  
火災、感電の原因となります。



改造禁止

- ・本機を改造しない。  
火災、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・本機の上ケース以外は外さない。  
内部は電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

### 注意



プラグを持って抜く

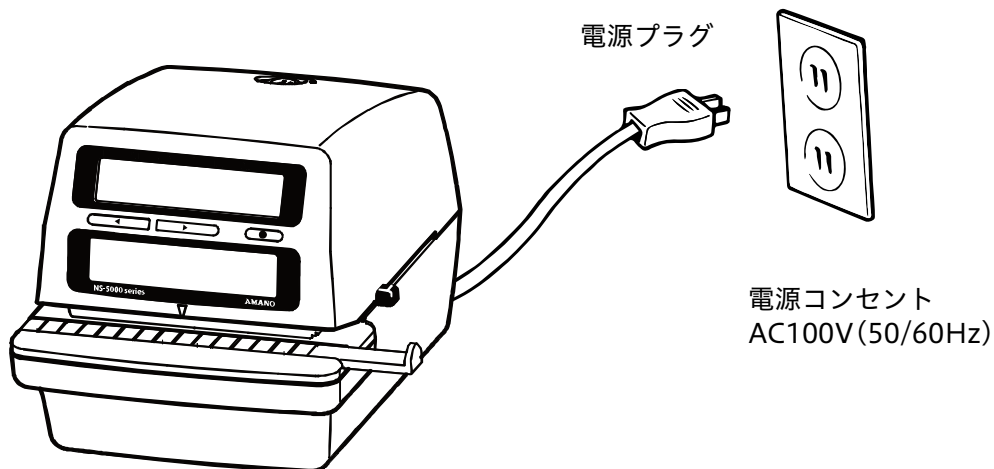
- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



設置場所

- ・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。  
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



## 7 使い方

### 印字位置の合わせかた

用紙に印字する位置を決めます

#### 1 印字位置（左右）の調整

印字位置(左右)の調整は、サイドガイドを左右に移動することで決まります。

用紙検知(自動印字)の場合、印字できる範囲は印字用紙の端から印字中心まで(15～116mm)の範囲です。

サイドガイドは左右どちらからでも挿入できます。

印字用紙の左端・右端とも位置合わせができます。

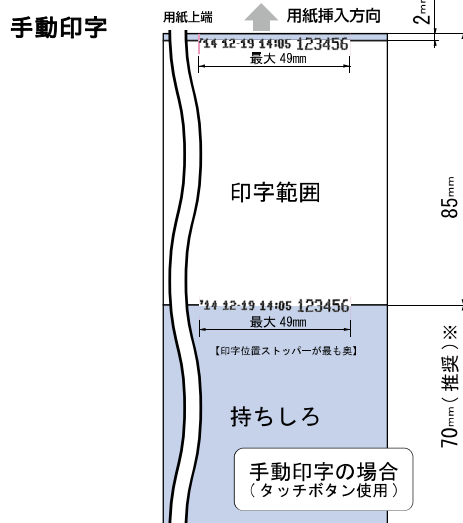
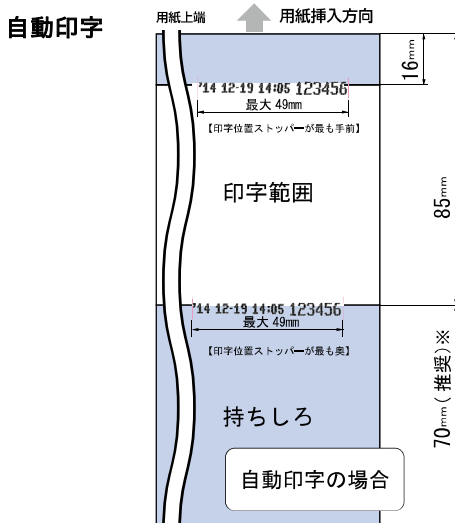
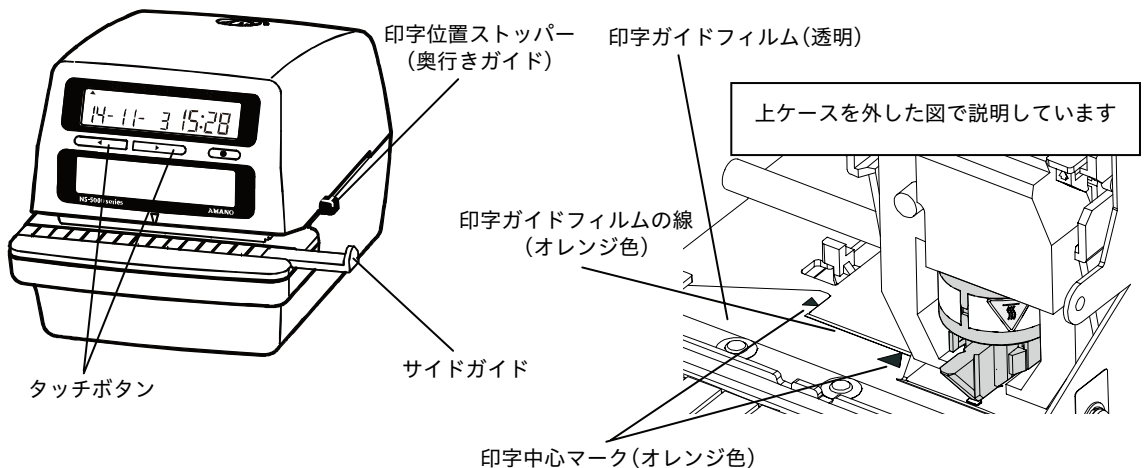
また、サイドガイドをカットすることで長さの調整が可能です。

#### 2 印字位置（奥行）の調整

印字位置(奥行)の調整は、印字位置ストッパー(奥行きガイド)を前後に移動することで決まります。

印字用紙の上端より 16～85mm の範囲で印字できます。

タッチボタン(手動印字)の場合、リボンガイドの下にある印字ガイドフィルムの線(オレンジ色)を目安にしてタッチボタンを押して印字します。印字用紙の上端より 2～85mm の範囲で印字できます。



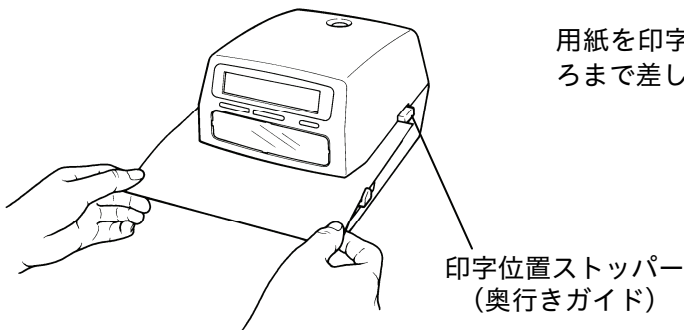
## 印字のしかた

印字位置ストッパーによる用紙検知（自動印字）と、タッチボタン（手動印字）で印字する方法があります。

タッチボタン（手動印字）の場合、リボンガイドの下にある用紙ガイドフィルムの線（オレンジ色）を目安にしてタッチボタンを押して印字します。（11 ページ「印字位置の合わせかた」参照）

自動印字と手動印字のどちらかで印字するかは 34 ページの「印字方法の選択」によって決まります。

### ■自動印字



用紙を印字位置ストッパーのところまで差し込むと、印字します。

### ■手動印字



用紙を差し込み、印字位置を確認後、指でタッチボタンを押すと印字します。

※印字が完了するまで用紙は抜かないでください。

印字音がしているとき（印字途中）に用紙を抜くと、用紙が破れたり印字機構部が変形して故障の原因となります。

用紙は印字動作が完了してから抜くようにしてください。



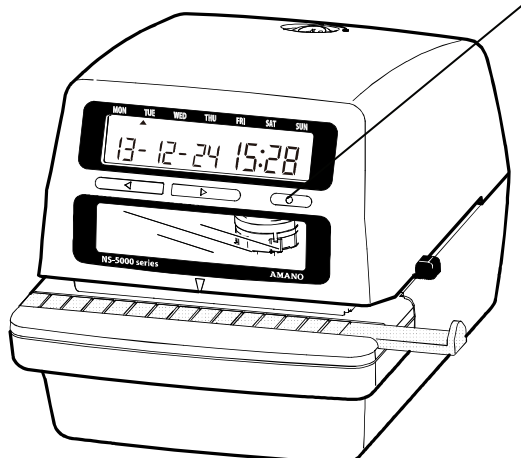
## 表示について

設定内容によって印字種類の内容をすべて表示することはできません。

その場合、次の①～④の画面のように表示します。

表示切り替えボタンを押すことで表示が切り替わります。

表示切り替えボタン



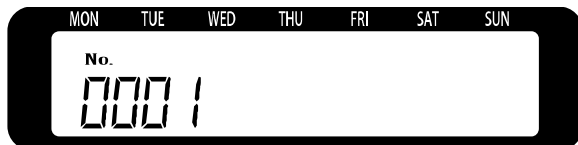
①



西暦年 月 日 時 分  
(下2桁)

表示切り替えボタンを3秒以上押し続けると時計表示の12時制、24時制の切り替えができます。(4ページ参照)

②



4桁ナンバー

ナンバーのある印字種類を選択した場合のみ表示します。

③



カウンター

カウンター機能を使用した場合のみ表示します。(NS-5100)

④



リピート

ナンバーのある印字種類を選択し、リピートの設定を行ったときのみ表示します。(NS-5100)

## 8 設定のしかた

### 設定項目と初期値

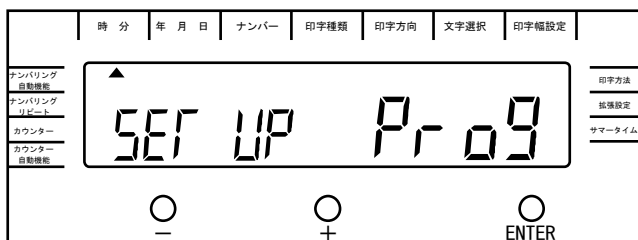
設定項目		初期値	備考
ナンバー		0	
印字種類		4	年月日 時(24 時制)分(60 進) *14 11-03 12:52
印字方向		正方向	OFF:正方向 *14 11-03 12:52 ON :逆方向 25:21 10-11 11.
文字選択	P1 年の選択	西暦	OFF:西暦 ON:和暦
	P2 月の種類	1	1:数字表現 2:英語表現 3:スペイン語表現 4:ドイツ語表現 5:フランス語表現 6:イタリア語表現 7:ローマ数字表現
	P3 ゼロの種類	標準	OFF:標準「0」 ON:「0」
	P4 ゼロサプレス	しない	ON:する(例: 1234) OFF:しない(例:001234)
印字幅設定		自動	
ナンバリング 自動機能	P1 ナンバー初期値	0	
	P2 自動復帰機能有無	なし	OFF:なし ON :あり
	自動復帰時刻	0:00	
ナンバリングリポート		1	
カウンター			
カウンター 自動機能	P1 カウンター自動機能 有無	なし	OFF:なし UP:加算式 drc:減算式
	P2 カウンター初期値	0	
	P3 カウンター自動復帰 機能有無	自動復帰機能 なし	ON : 自動復帰機能あり OFF: 自動復帰機能なし
印字方法		1	1: 用紙検知とタッチボタン 2: 用紙検知 (自動印字) 3: タッチボタン (手動印字)
サマータイム		なし	OFF:なし ON :あり
ユーザーフォーマット 1		設定なし	
ユーザーフォーマット 2		設定なし	

は NS-5000 では設定できません。

## 設定の準備

設定するときは、カギで上ケースを開けてから行います。

上ケースを開けると、右の画面を表示します。  
本書ではこの表示を“初期画面”  
といいます。



ボタン	選択中	設定中
○ -	設定項目を選択します。 ▲表示が移動します。	[-]ボタンは、点滅した設定内容の数値をマイナスしたり、ON/OFF を切り替えます。 押し続けると数値を連続してマイナスします。
○ +	設定項目を選択します。 ▲表示が移動します。	[+]ボタンは、点滅した設定内容の数値をプラスしたり、ON/OFF を切り替えます。 押し続けると数値を連続してプラスします。
○ ENTER	▲表示した設定を開始します。	[ENTER]ボタンは、設定した内容を確定し、次の設定項目の選択ができます。

## 用語説明

- ・ナンバー：印字するナンバーを設定する機能です。
- ・ナンバリングリピート：ナンバリングリピートで指定した回数を印字すると、次のナンバーに変わる機能です。
- ・カウンター：内部で印字回数を積算する機能です。
- ・ユーザーフォーマット：NS-5100 のユーザーフォーマット仕様のお客様で、2 つの印字種類(ユーザーフォーマット 1、ユーザーフォーマット 2)をお使いの場合は、それぞれのユーザーフォーマットについて設定を行います。(ユーザーフォーマットの設定は有償にて承ります)

# 年月日の合わせかた

現在の日付に合わせます。

例：2018年11月2日を2018年11月3日に変更する

## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**+**ボタンか**-**ボタンを押して▲の点滅を【年月日】に合わせます。

次に**ENTER**ボタンを押します。

「年」の表示が点滅します。



## 3 「年」の変更

西暦年を確認します。

変更する必要がなければ**ENTER**ボタンを押します。

点滅が「月」に移動します。

## 4 「月」の変更

月を確認します。

変更する必要がなければ**ENTER**ボタンを押します。

点滅が「日」に移動します。



## 5 「日」の変更

**+**ボタンか**-**ボタンを押して、「日」を「3」にします。



## 6 登録のしかた

**ENTER**ボタンを押して日付の設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 7 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

# 時刻の合わせかた

時計が遅れたり進んだりした場合、時計を合わせます。

例：12:59 を 13:01 に変更する

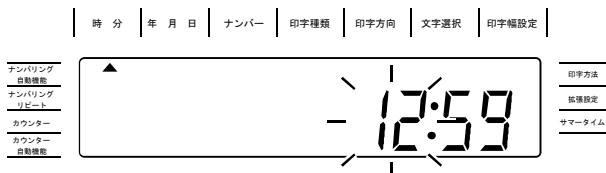
## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**+** ボタンか **-** ボタンを押して▲の点滅を【時分】に合わせます。

次に **ENTER** ボタンを押します。

「時」の表示が点滅します。

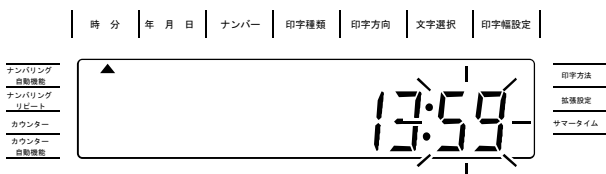


## 3 「時」の変更

**+** ボタンか **-** ボタンを押して「時」を“13”(24 時制)にします。

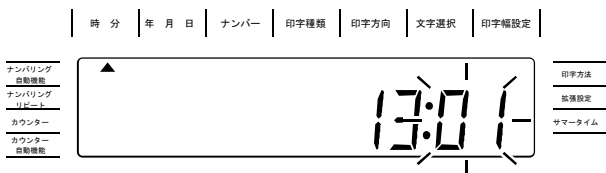
次に **ENTER** ボタンを押します。

点滅が「分」に移動します。



## 4 「分」の変更

**+** ボタンか **-** ボタンを押して「分」を“01”にします。



## 5 登録のしかた

**ENTER** ボタンを押して時分の設定を完了し、初期画面に戻ります。

**ENTER** ボタンを押したタイミングで 0 秒に設定され歩進が始まります。



## 6 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

※NS-5000 シリーズの時計精度は週差±3 秒以内 (25°C±5°C、通電時) です。

# 印字種類の選択のしかた

用紙に印字する印字種類を91通りから選択します。(印字種類は19~21ページ参照)  
NS-5100は“92”を選択することでユーザーフォーマットが使用できます。(有償オプション)

例：項目No.4をNo.56に変更する

項目No.	印字内容	印字サンプル
4	年月日 時(24時制)分(60進)	'14 11-03 17:53
56	6桁ナンバー 年月日 時(24時制)分(60進)	123456 '14 11-03 17:53

※出荷時の初期値は項目No.4で設定されております。

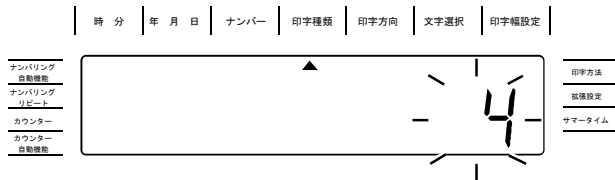
## 1 上ケースを開けます(7ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**+**ボタンか**-**ボタンを押して▲の点滅を【印字種類】に合わせます。

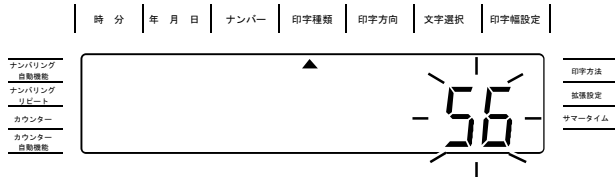
次に**ENTER**ボタンを押します。

「項目No.」の表示が点滅します。



## 3 変更のしかた

**+**ボタンか**-**ボタンを押して設定値を“56”にします。



## 4 登録のしかた

**ENTER**ボタンを押して印字種類の設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます(7ページ参照)

## 印字種類表

項目No.	印字内容	印字例
1	年月日	'14 11-03
2	日月年	03-11 '14
3	月日年	11-03 '14
4	年月日 時(24 時制)分(60 進)	'14 11-03 17:53
5	年月日 時(24 時制)分(100 進)	'14 11-03 17.88
6	年月日 時(12 時制)分(60 進)	'14 11-03 PM05:53
7	年月日 時(12 時制)分(100 進)	'14 11-03 PM05.88
8	日月年 時(24 時制)分(60 進)	03-11 '14 17:53
9	日月年 時(24 時制)分(100 進)	03-11 '14 17.88
10	日月年 時(12 時制)分(60 進)	03-11 '14 PM05:53
11	日月年 時(12 時制)分(100 進)	03-11 '14 PM05.88
12	月日年 時(24 時制)分(60 進)	11-03 '14 17:53
13	月日年 時(24 時制)分(100 進)	11-03 '14 17.88
14	月日年 時(12 時制)分(60 進)	11-03 '14 PM05:53
15	月日年 時(12 時制)分(100 進)	11-03 '14 PM05.88
16	時(24 時制)分(60 進)	17:53
17	時(24 時制)分(100 進)	17.88
18	時(12 時制)分(60 進)	PM05:53
19	時(12 時制)分(100 進)	PM05.88
20	4 桁ナンバー	1234
21	6 桁ナンバー	123456
22	4 桁ナンバー 年月日	1234 '14 11-03
23	4 桁ナンバー 日月年	1234 03-11 '14
24	4 桁ナンバー 月日年	1234 11-03 '14
25	6 桁ナンバー 年月日	123456 '14 11-03
26	6 桁ナンバー 日月年	123456 03-11 '14
27	6 桁ナンバー 月日年	123456 11-03 '14
28	4 桁ナンバー 時(24 時制)分(60 進)	1234 17:53
29	4 桁ナンバー 時(24 時制)分(100 進)	1234 17.88
30	4 桁ナンバー 時(12 時制)分(60 進)	1234 PM05:53
31	4 桁ナンバー 時(12 時制)分(100 進)	1234 PM05.88

項目No.	印字内容	印字例
32	時(24 時制)分(60 進) 4桁ナンバー	17:53 1234
33	時(24 時制)分(100 進) 4桁ナンバー	17.88 1234
34	時(12 時制)分(60 進) 4桁ナンバー	PM05:53 1234
35	時(12 時制)分(100 進) 4桁ナンバー	PM05.88 1234
36	6桁ナンバー 時(24 時制)分(60 進)	123456 17:53
37	6桁ナンバー 時(24 時制)分(100 進)	123456 17.88
38	6桁ナンバー 時(12 時制)分(60 進)	123456 PM05:53
39	6桁ナンバー 時(12 時制)分(100 進)	123456 PM05.88
40	時(24 時制)分(60 進) 6桁ナンバー	17:53 123456
41	時(24 時制)分(100 進) 6桁ナンバー	17.88 123456
42	時(12 時制)分(60 進) 6桁ナンバー	PM05:53 123456
43	時(12 時制)分(100 進) 6桁ナンバー	PM05.88 123456
44	4桁ナンバー 年月日 時(24 時制)分(60 進)	1234 '14 11-03 17:53
45	4桁ナンバー 年月日 時(24 時制)分(100 進)	1234 '14 11-03 17.88
46	4桁ナンバー 年月日 時(12 時制)分(60 進)	1234 '14 11-03 PM05:53
47	4桁ナンバー 年月日 時(12 時制)分(100 進)	1234 '14 11-03 PM05.88
48	4桁ナンバー 日月年 時(24 時制)分(60 進)	1234 03-11 '14 17:53
49	4桁ナンバー 日月年 時(24 時制)分(100 進)	1234 03-11 '14 17.88
50	4桁ナンバー 日月年 時(12 時制)分(60 進)	1234 03-11 '14 PM05:53
51	4桁ナンバー 日月年 時(12 時制)分(100 進)	1234 03-11 '14 PM05.88
52	4桁ナンバー 月日年 時(24 時制)分(60 進)	1234 11-03 '14 17:53
53	4桁ナンバー 月日年 時(24 時制)分(100 進)	1234 11-03 '14 17.88
54	4桁ナンバー 月日年 時(12 時制)分(60 進)	1234 11-03 '14 PM05:53
55	4桁ナンバー 月日年 時(12 時制)分(100 進)	1234 11-03 '14 PM05.88
56	6桁ナンバー 年月日 時(24 時制)分(60 進)	123456 '14 11-03 17:53
57	6桁ナンバー 年月日 時(24 時制)分(100 進)	123456 '14 11-03 17.88
58	6桁ナンバー 年月日 時(12 時制)分(60 進)	123456 '14 11-03 PM05:53
59	6桁ナンバー 年月日 時(12 時制)分(100 進)	123456 '14 11-03 PM05.88
60	6桁ナンバー 日月年 時(24 時制)分(60 進)	123456 03-11 '14 17:53



項目No.	印字内容	印字例
61	6桁ナンバー 日月年 時(24時制)分(100進)	123456 03-11 '14 17.88
62	6桁ナンバー 日月年 時(12時制)分(60進)	123456 03-11 '14 PM05:53
63	6桁ナンバー 日月年 時(12時制)分(100進)	123456 03-11 '14 PM05.88
64	6桁ナンバー 月日年 時(24時制)分(60進)	123456 11-03 '14 17:53
65	6桁ナンバー 月日年 時(24時制)分(100進)	123456 11-03 '14 17.88
66	6桁ナンバー 月日年 時(12時制)分(60進)	123456 11-03 '14 PM05:53
67	6桁ナンバー 月日年 時(12時制)分(100進)	123456 11-03 '14 PM05.88
68	年月日 時(24時制)分(60進) 4桁ナンバー	'14 11-03 17:53 1234
69	年月日 時(24時制)分(100進) 4桁ナンバー	'14 11-03 17.88 1234
70	年月日 時(12時制)分(60進) 4桁ナンバー	'14 11-03 PM05:53 1234
71	年月日 時(12時制)分(100進) 4桁ナンバー	'14 11-03 PM05.88 1234
72	日月年 時(24時制)分(60進) 4桁ナンバー	03-11 '14 17:53 1234
73	日月年 時(24時制)分(100進) 4桁ナンバー	03-11 '14 17.88 1234
74	日月年 時(12時制)分(60進) 4桁ナンバー	03-11 '14 PM05:53 1234
75	日月年 時(12時制)分(100進) 4桁ナンバー	03-11 '14 PM05.88 1234
76	月日年 時(24時制)分(60進) 4桁ナンバー	11-03 '14 17:53 1234
77	月日年 時(24時制)分(100進) 4桁ナンバー	11-03 '14 17.88 1234
78	月日年 時(12時制)分(60進) 4桁ナンバー	11-03 '14 PM05:53 1234
79	月日年 時(12時制)分(100進) 4桁ナンバー	11-03 '14 PM05.88 1234
80	年月日 時(24時制)分(60進) 6桁ナンバー	'14 11-03 17:53 123456
81	年月日 時(24時制)分(100進) 6桁ナンバー	'14 11-03 17.88 123456
82	年月日 時(12時制)分(60進) 6桁ナンバー	'14 11-03 PM05:53 123456
83	年月日 時(12時制)分(100進) 6桁ナンバー	'14 11-03 PM05.88 123456
84	日月年 時(24時制)分(60進) 6桁ナンバー	03-11 '14 17:53 123456
85	日月年 時(24時制)分(100進) 6桁ナンバー	03-11 '14 17.88 123456
86	日月年 時(12時制)分(60進) 6桁ナンバー	03-11 '14 PM05:53 123456
87	日月年 時(12時制)分(100進) 6桁ナンバー	03-11 '14 PM05.88 123456
88	月日年 時(24時制)分(60進) 6桁ナンバー	11-03 '14 17:53 123456
89	月日年 時(24時制)分(100進) 6桁ナンバー	11-03 '14 17.88 123456
90	月日年 時(12時制)分(60進) 6桁ナンバー	11-03 '14 PM05:53 123456
91	月日年 時(12時制)分(100進) 6桁ナンバー	11-03 '14 PM05.88 123456

# 印字方向の選択

用紙を差し込む方向と印字する文字の方向を同じにするか、上下逆向きにするかを選択します。

補足) 印字位置ストッパーを最も奥にして用紙を差し込んでも、印字したい場所に届かない場合、上下を逆向きに印字させます。(用紙の挿入も逆向きにする必要があります。)

印字したい場所



用紙挿入方向

25:21 00-11 41.  
逆方向 = "on" にする

例：印字する文字の方向を上下逆向きに変更する

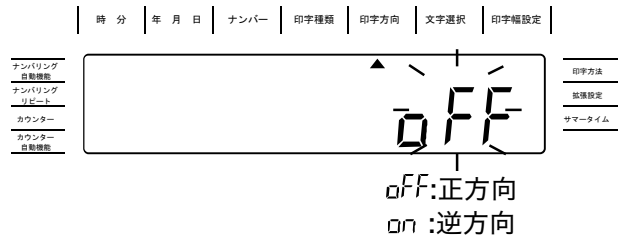
## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**+** ボタンか **-** ボタンを押して▲の点滅を【印字方向】に合わせます。

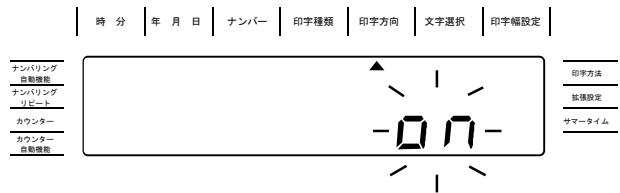
次に **ENTER** ボタンを押します。

"off" (正方向) が点滅します。



## 3 変更のしかた

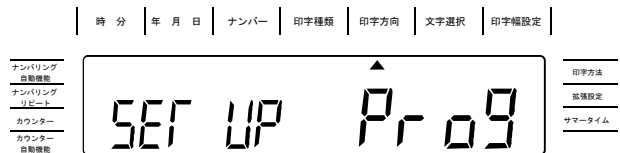
**+** ボタンか **-** ボタンを押して設定値を"on"にします。



## 4 登録のしかた

変更をしたら **ENTER** ボタンを押して印字方向の設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

## 文字選択（文字種）の設定

印字文字の「年」、「月」、「0」（ゼロ）の表しかたなどを選択します。

■年の選択 西暦 = *oFF* 和暦 = *oN*

入力値	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	...	19	20	...	25	26
和暦用アルファベット	なし	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	...	S	T	...	Y	Z

■月の種類（NS-5100）

1	数字	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
2	英語表現	JAN, FEB, MAR, APR, MAY, JUN, JUL, AUG, SEP, OCT, NOV, DEC
3	スペイン語表現	ENE, FEB, MAR, ABR, MAY, JUN, JUL, AGO, SEP, OCT, NOV, DIC
4	ドイツ語表現	JAN, FEB, MAR, APR, MAI, JUN, JUL, AUG, SEP, OKT, NOV, DEZ
5	フランス語表現	JAN, FEV, MAR, AVR, MAI, JUN, JUL, AOU, SEP, OCT, NOV, DEC
6	イタリア語表現	GEN, FEB, MAR, APR, MAG, GIU, LUG, AGO, SET, OTT, NOV, DIC
7	ローマ数字表現	I, II, III, IV, V, VI, VII, VIII, IX, X, XI, XII

■ゼロの種類（NS-5100） 標準「0」 = *oFF* 「0」 = *oN*

■ゼロサプレス機能（NS-5100）

ゼロサプレス する = *oN*(例: **1234**)、しない = *oFF*(例:**001234**)

※ゼロサプレス：指定した桁数に満たない場合、先頭の「0」を空白に置き換え印字します。

例：年の選択（和暦・平成 30 年）、月の種類（英語）、ゼロの種類（標準「0」）、ゼロサプレス（する）に設定する

※NS-5000 では年の選択以外はできません。

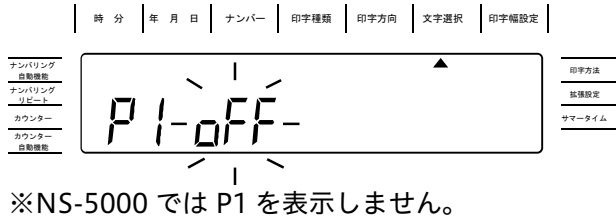
## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**+**ボタンか**-**ボタンを押して▲の点滅を【文字選択】に合わせます。

次に **ENTER** ボタンを押します。

年の選択が点滅します。



## 3 変更のしかた

年の選択 (P1)

西暦／和暦を変更します。

**+**ボタンか**-**ボタンを押して、設定値を和暦“on”にします。

※西暦“off”を選択した場合は、“P2”に進みます。

次に **ENTER** ボタンを押します。

点滅が和暦年号に移動します。

和暦の年号をアルファベットで表記したときの頭文字を指定します。

HEISEI（平成）＝“8”にします。  
(⇒年の選択は 23 ページ参照)

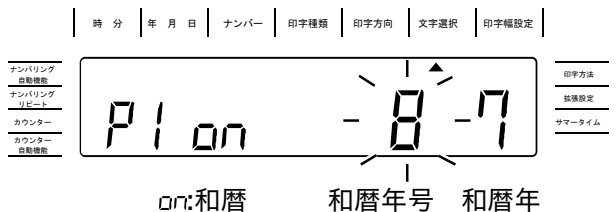
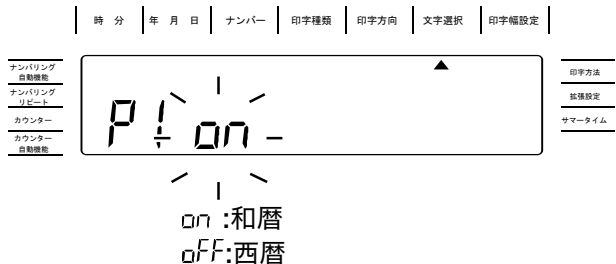
次に **ENTER** ボタンを押します。

点滅が和暦年に移動します。

和暦年を“30”にします。

NS-5000 をお使いのお客様は、**4**に進みます。

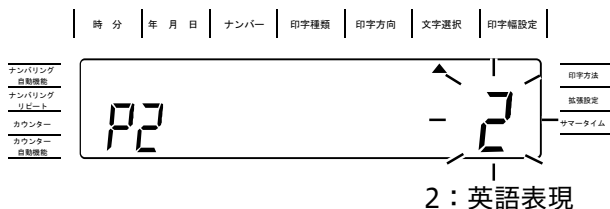
NS-5100 をお使いのお客様は、**ENTER** ボタンを押すと“P2”を表示し、月の種類が点滅します。



## 月の種類 (P2) (NS-5100)

月の種類を変更します。

**[+]**ボタンか**[-]**ボタンを押して、設定値を“2”(英語表現)にします。  
(月の種類は 23 ページ参照)



次に **[ENTER]** ボタンを押します。

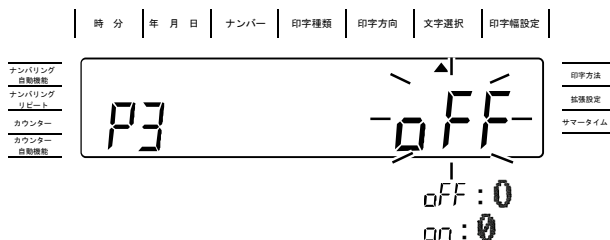
“P3”を表示し、点滅がゼロの種類に移動します。

## ゼロの種類 (P3) (NS-5100)

ゼロの種類を指定します。

off : 0  
on : 0

**[+]**ボタンか**[-]**ボタンを押して、設定値を“off”にします。



次に **[ENTER]** ボタンを押します。

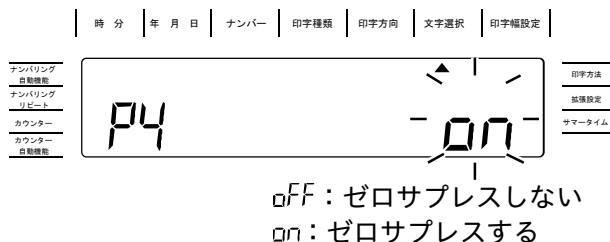
“P4”を表示し、点滅がゼロサプレス機能に移動します。

## ゼロサプレス機能 (P4) (NS-5100)

ゼロサプレス機能を変更します。

off : ゼロサプレスしない  
on : ゼロサプレスする

**[+]**ボタンか**[-]**ボタンを押して、設定値を“on”にします。



## 4 登録のしかた

変更したら **[ENTER]** ボタンを押して印字方向の設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

# 印字幅の設定

全体の印字幅が調整できます。

印字種類ごとに最大幅や最小幅が決められており、mm 単位で希望の幅に近いところに設定してください。

※印字種類「92」（ユーザーフォーマット）を使用している場合、印字幅の設定は行えません。  
(NS-5100)

例：印字種類「56」の印字幅を、49mm に変更する

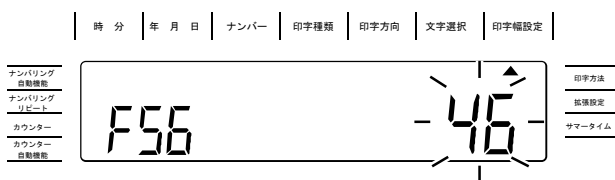
## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**[+]** ボタンか **[−]** ボタンを押して▲の点滅を【印字幅設定】に合わせます。

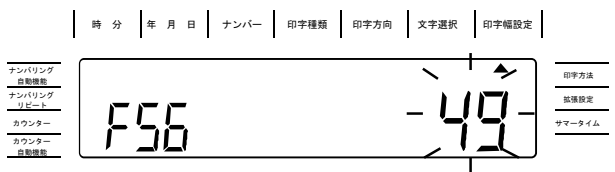
次に **[ENTER]** ボタンを押します。

印字幅が点滅します。



## 3 変更のしかた

**[+]** ボタンか **[−]** ボタンを押して設定値を“49”にします。



## 4 登録のしかた

**[ENTER]** ボタンを押して文字選択の設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

# ナンバーの設定

番号を印字する前に、最初の番号を設定します。

※印字種類でナンバーを使用しない印字種類を選択した場合、ナンバーの設定はできません。

例：000001 に戻して使う（6桁のナンバー使用）場合

## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**[+]**ボタンか**[-]**ボタンを押して▲の点滅を【ナンバー】に合わせます。

次に**[ENTER]**ボタンを押します

ナンバーの6桁目が点滅します。



## 3 変更のしかた

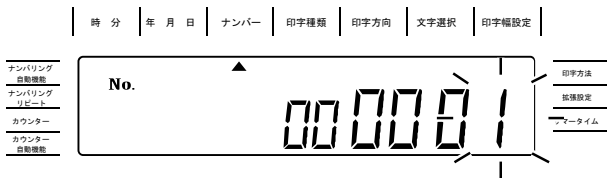
点滅した6桁目から変更します。

**[+]**ボタンか**[-]**ボタンを押して設定値を“0”にします。

次に**[ENTER]**ボタンを押します。

点滅が5桁目に移動します。

同様の操作で1桁目まで変更します。



※(000001)に戻したい時は、**[+]**ボタンと**[-]**ボタンを同時に3秒間押し続けると、初期値(000001)になります。

## 4 登録のしかた

**[ENTER]**ボタンを押してナンバーの設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

# ナンバリング自動機能設定 (NS-5100)

ナンバリング自動機能を利用すると、毎日決まった時刻に設定の番号に戻すことができます。

例：毎日 5:00 になると“200001”に戻す場合

## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**+**ボタンか**-**ボタンを押して▲の点滅を【ナンバリング自動機能】に合わせます。

次に **ENTER** ボタンを押します。

ナンバーの 6 桁目が点滅します。



## 3 変更のしかた

ナンバー初期値 (P1)

点滅した 6 桁目から変更します。

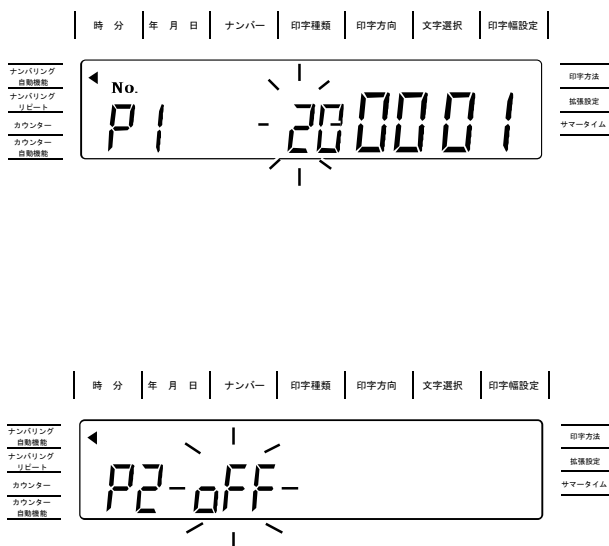
**+**ボタンか**-**ボタンを押して数字を合わせて **ENTER** ボタンを押します。

点滅が次の桁に移動します。

同様の操作で 1 桁目まで変更します。

変更をしたら **ENTER** ボタンを押します。

“P2”を表示し自動復帰機能が点滅します。





## 自動復帰機能 (P2)

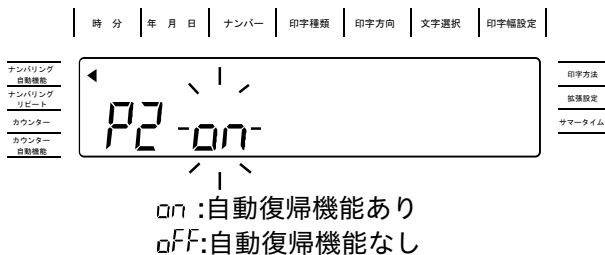
on : 自動復帰機能あり  
off : 自動復帰機能なし

**+**ボタンか**-**ボタンを押して、設定値を“on”にします。

次に**ENTER**ボタンを押します。

点滅が「時」に移動します。

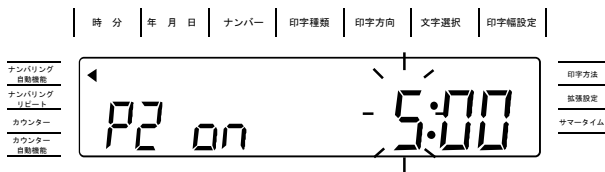
※“off”を選択した場合は、**4**「登録のしかた」に進みます。



## 自動復帰時刻 (時)

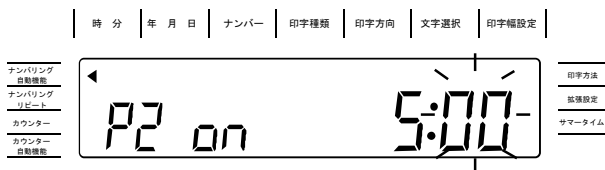
**+**ボタンか**-**ボタンを押して「時」を“5”にします。

次に**ENTER**ボタンを押します。



## 自動復帰時刻 (分)

**+**ボタンか**-**ボタンを押して「分」を“00”にします。



## 4 登録のしかた

**ENTER**ボタンを押してナンバーの設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

# ナンバリングリピートの設定 (NS-5100)

ナンバリングリピートとは、指定した回数を印字すると、次のナンバーに変わる機能です。  
例えば“3”にすると、3回印字するごとに次の番号に変わります。  
リピート回数は最大9回まで設定可能です。

※印字種類でナンバーを使用しない印字種類を選択した場合、ナンバリングリピートの設定はできません。

例：リピート回数を3回にする(0001、0001、0001、0002、0002、0002と番号が変わる)場合

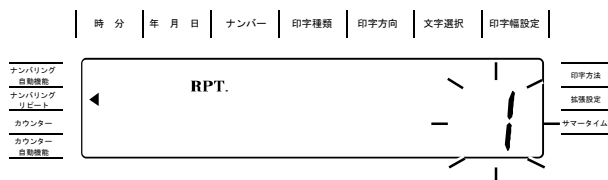
## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**+**ボタンか**-**ボタンを押して▲の点滅を【ナンバリングリピート】に合わせます。

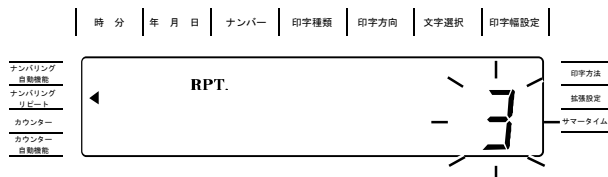
次に**ENTER**ボタンを押します。

リピート回数が点滅します。



## 3 変更のしかた

**+**ボタンか**-**ボタンを押して、設定値を“3”にします。



## 4 登録のしかた

**ENTER**ボタンを押してナンバリングリピートの設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

# カウンターの設定 (NS-5100)

印字回数を調べたりするために内部でカウントすることができます。

また、自動復帰機能を使うと設定したカウント数で印字を停止したり、毎日決まった時刻に設定の回数に戻すことができます。

※NS-5100 でカウンター自動機能設定 (32 ページ参照) のカウント方法が“OFF”になっていると、カウンター設定は行えません。

“LP”または“dn”にしてからカウンター設定を行ってください。

例：000000 に戻して使う場合

## 1 上ケースを開けます (7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

[+]ボタンか[-]ボタンを押して▲の点滅を【カウンター】に合わせます。

次に [ENTER] ボタンを押します。

カウンターの 6 桁目が点滅します。



## 3 変更のしかた

点滅した 6 桁目から変更します。

[+]ボタンか[-]ボタンを押して設定値を“0”にします。

次に [ENTER] ボタンを押します。

同様の操作で 1 桁目まで変更します。



## 4 登録のしかた

[ENTER] ボタンを押してカウンターの設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます (7 ページ参照)

(補足)

カウンターを設定すると、印字中は右のように表示します。



# カウンターの自動機能設定 (NS-5100)

例：毎日午前 5:00 になると“001500”に戻す場合

また、1 回印字するごとにカウントを減算し、その日のうちにカウンターが“000000”になれば印字できないようにする。

(1 日の発行枚数が決まっているチケットなどの発行の際に便利な機能です)

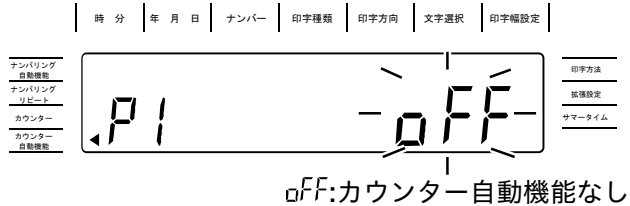
## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

**+** ボタンか **-** ボタンを押して▲の点滅を【カウンター自動機能】に合わせます。

次に **ENTER** ボタンを押します。

カウント方法が点滅します。



## 3 変更のしかた

カウント方法 (P1)

**+** ボタンか **-** ボタンを押してカウント方法を“dn”にします。

off：カウンター自動機能なし

UP：加算式 (1 回印字するごとに 1、2、3…とカウンター値が上がります。)

dn：減算式 (1 回印字するごとに…2、1、0 とカウンター値が下がります。)

次に **ENTER** ボタンを押します。

“P2”を表示し、カウンターの 6 桁目が点滅します。

※“off”を選択した場合は、表示は初期画面に戻ります。

カウンター初期値 (P2)

点滅した 6 桁目から変更します。

**+** ボタンか **-** ボタンを押して設定値を“0”に変更します。

次に **ENTER** ボタンを押します。

5 桁目が点滅します。

同様の操作で 1 桁目まで変更します。

変更をしたら **ENTER** ボタンを押します。“P3”を表示し、カウンター自動復帰機能が点滅します。



カウンター自動復帰機能 (P3)  
自動復帰機能あり/なしを変更します。

on : 自動復帰機能あり  
off : 自動復帰機能なし

ボタンか  ボタンを押して“on”に  
合わせます。次に  ボタンを押しま  
す。

「時」が点滅します。

※“off”を選択した場合は、表示は初期  
画面に戻ります。

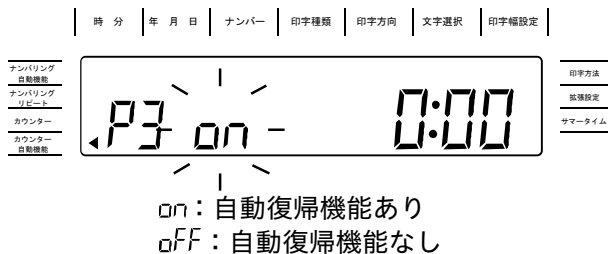
自動復帰時刻 (時)

ボタンか  ボタンを押して「時」を“5”  
に変更します。

次に  ボタンを押します。  
「分」が点滅します。

自動復帰時刻 (分)

ボタンか  ボタンを押して「分」を  
“00”に変更します。



## 4 登録のしかた

ボタンを押して、カウンター自  
動機能の設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

※カウント方法を“dn” (減算式) で使用した場合、カウント値が“000000”になると、  
 と表示され印字することができません。印字したいときには、再びカウント値  
を設定するか、カウント方法を“off” (カウンター自動機能なし) にしてください。  
また、停止状態でも登録した自動復帰時刻になると、登録したカウンターが初期値に戻り、  
印字可能となります。

# 印字方法の選択

印字方法を選択します。

印字方法には下記の3つがあります。

- 1：用紙検知（自動印字）とタッチボタン（手動印字）のどちらでも印字する
- 2：用紙検知（自動印字）で印字する
- 3：タッチボタン（手動印字）で印字する

※NS-5100 でユーザーフォーマット 1 と 2 の両方を設定している場合は、印字方法は“1”または“3”に設定してください。

印字方法が「2：用紙検知（自動印字）」の設定になっていると、ユーザーフォーマット 2 の印字はできません。

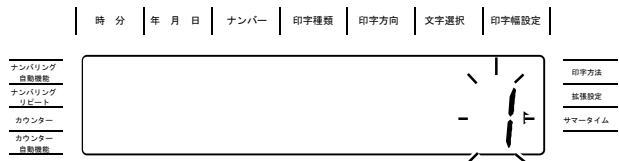
例：印字方法を「用紙検知（自動印字）」のみで行う場合

## 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

## 2 設定項目の選択

ボタンか  ボタンを押して ▲ の点滅を【印字方法】に合わせます。

次に  ボタンを押します。

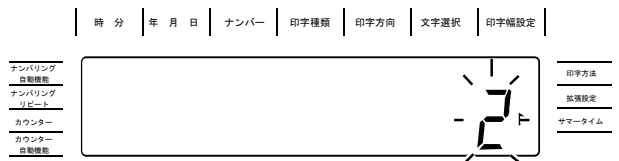


1：用紙検知とタッチボタンのどちらでも印字できる

## 3 変更のしかた

- 1：用紙検知（自動印字）とタッチボタン（手動印字）のどちらでも印字する
- 2：用紙検知（自動印字）で印字する
- 3：タッチボタン（手動印字）で印字する

ボタンか  ボタンを押して、設定値を“2”にします。



2：用紙検知（自動印字）で印字する

## 4 登録のしかた

ボタンを押して印字方法の設定を完了します。

表示は初期画面に戻ります。



## 5 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

# サマータイムの設定

日本国内において、サマータイムが導入されたときに使用します。

NS-5000 シリーズでは、パスワードの入力を行うことにより、サマータイムの設定を行うことができます。

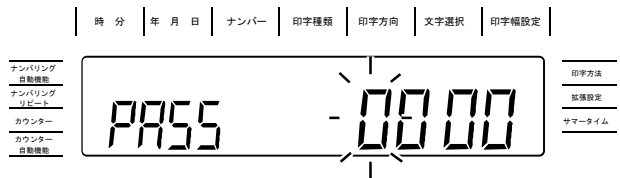
## ■サマータイム機能の設定

### 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

### 2 パスワード入力画面にします

**+**ボタンと**-**ボタンの両方を同時に約3秒間押し続けます。

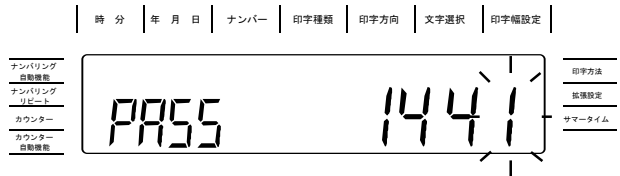
パスワードの4桁目が点滅します。



### 3 パスワードを入力します

パスワード“1441”を入力します。  
点滅した4桁目から変更します。

**+**ボタンか**-**ボタンを押して、設定値を“1”に変更します。

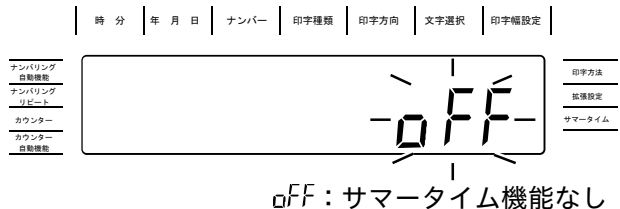


次に**ENTER**ボタンを押します。

3桁目が点滅します。

同様の操作で1桁目まで変更します。

変更したら**ENTER**ボタンを押します。



サマータイム機能が点滅します。

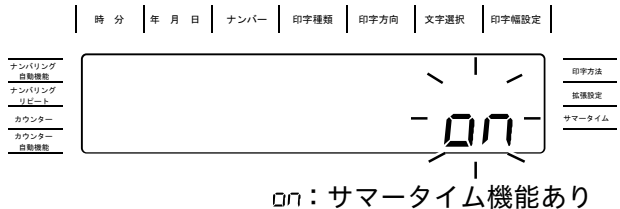
OFF：サマータイム機能なし

### 4 サマータイム使用／未使用の選択

OFF：サマータイム機能なし

ON：サマータイム機能あり

**+**ボタンか**-**ボタンを押して設定値を“on”に変更します。



ON：サマータイム機能あり

次に**ENTER**ボタンを押します。

表示は初期画面に戻ります。

### 5 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

## ■ サマータイムの設定／月日入力

サマータイムの開始と終了日を月日で設定します。開始時刻の設定もできます。

例：開始日と時刻を4月7日の午前2:00に設定する

### 1 上ケースを開けます(7 ページ参照)

### 2 設定項目の選択

**+**ボタンか**-**ボタンを押して▲の点滅を【サマータイム】に合わせます。

次に**ENTER**ボタンを押します。

時	分	年	月	日	ナンバー	印字種類	印字方向	文字選択	印字幅設定
<p>0：サマータイム機能なし 1：月日入力 2：週No.と曜日No.入力</p>									

### 3 変更のしかた

モード選択 (P1)

**+**ボタンか**-**ボタンを押して、設定値を“1”にします。

**ENTER**ボタンを押して決定します。

時	分	年	月	日	ナンバー	印字種類	印字方向	文字選択	印字幅設定
<p>1:月日入力</p>									

開始月の変更 (P2)

**+**ボタンか**-**ボタンを押して“4”にします。

**ENTER**ボタンを押して決定します。

時	分	年	月	日	ナンバー	印字種類	印字方向	文字選択	印字幅設定

開始日の変更

**+**ボタンか**-**ボタンを押して“7”にします。

**ENTER**ボタンを押して決定します。

時	分	年	月	日	ナンバー	印字種類	印字方向	文字選択	印字幅設定

開始時刻の変更

**+**ボタンか**-**ボタンを押して“2:00”にします。

次に**ENTER**ボタンを押して決定します。

時	分	年	月	日	ナンバー	印字種類	印字方向	文字選択	印字幅設定

終了月日と時刻の変更 (P3)

同様にしてサマータイムの終了日を設定します。

開始日と同じ手順で設定します。

時	分	年	月	日	ナンバー	印字種類	印字方向	文字選択	印字幅設定

### 4 上ケースを閉めます(7 ページ参照)



## ■サマータイムの設定／週No.と曜日No.入力

サマータイムの開始と終了日を週No.と曜日で設定します。開始時刻の設定もできます。

例：開始日と時刻を4月第1週の日曜日、午前2:00に設定する

### 1 上ケースを開けます(7ページ参照)

### 2 設定項目の選択

**+**ボタンか**-**ボタンを押して▲の点滅を【サマータイム】に合わせます。

次に**ENTER**ボタンを押します。



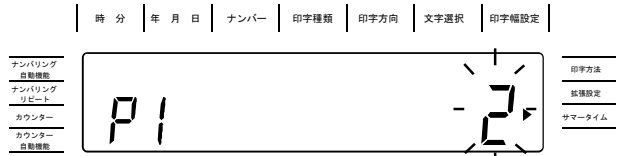
0：サマータイム機能なし  
1：月日入力  
2：週No.と曜日No.入力

### 3 変更のしかた

モード選択 (P1)

**+**ボタンか**-**ボタンを押して、設定値を“2”にします。

**ENTER**ボタンを押して決定します。

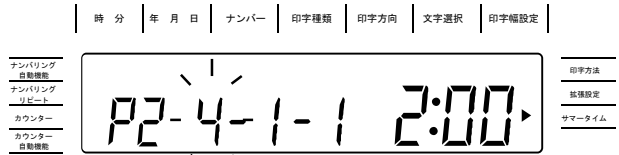


2：週No.と曜日No.入力

開始月の変更 (P2)

**+**ボタンか**-**ボタンを押して“4”にします。

**ENTER**ボタンを押して決定します。

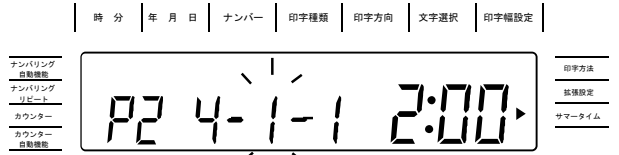


開始月 週No. 曜日No. 開始時刻

週No.の変更

**+**ボタンか**-**ボタンを押して“1”にします。

**ENTER**ボタンを押して決定します。



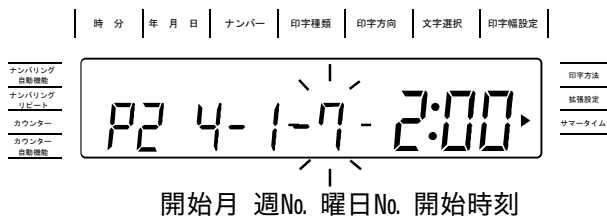
開始月 週No. 曜日No. 開始時刻

### 曜日No.の変更

**+**ボタンか**-**ボタンを押して  
“7”にします。

1：月 2：火 3：水 4：木 5：金  
6：土 7：日

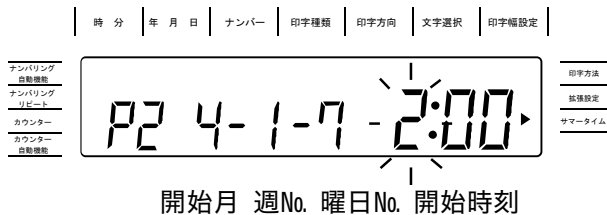
**ENTER**ボタンを押して決定します。



### 開始時刻の変更

**+**ボタンか**-**ボタンを押して  
“2:00”にします。

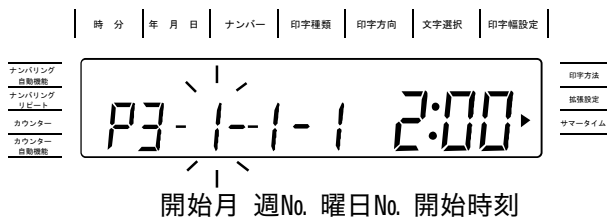
**ENTER**ボタンを押して決定します。



### 終了日と時刻の変更 (P3)

同様にして、サマータイムの終了日を  
設定します。

開始日と同じ手順で設定します。



## 4 上ケースを閉めます(7 ページ参照)

## 9 こんなときには

### 故障かなと思ったら

現象	原因と対処方法	
時計が遅れている (進んでいる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻合わせの間違い</li> <li>誤差の累積 (週差±3秒、25℃)</li> <li>長時間の停電</li> </ul>	⇒ 「時刻の合わせかた」 17 ページ参照
曜日・日付が違う	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付合わせの間違い</li> </ul>	⇒ 「年月日の合わせかた」 16 ページ参照
印字が薄い (印字が欠ける)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リボンの寿命</li> <li>リボンカセット装着ミス</li> </ul>	⇒ 「リボンカセットの交換」 42 ページ参照 ⇒ 正しく装着し直す
Count End と表示 され印字できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンター値が0になっている</li> </ul>	⇒ カウンター値の再設定 カウンター方法を“oFF” (カウンター自動機能なし)にする
同じ番号が繰り返し 印字される	<ul style="list-style-type: none"> <li>リピート機能が設定されている</li> </ul>	⇒ ナンバリングリピート 機能を確認する
印字しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>手動印字になっている</li> <li>上ケースが外れている</li> <li>施錠されていない</li> </ul>	⇒ タッチボタンを操作する 「印字方法の選択」 34 ページ参照 ⇒ 「上ケースの閉めかた」 7 ページ参照 ⇒
上下逆で印字される	<ul style="list-style-type: none"> <li>印字方向の設定間違い</li> </ul>	⇒ 「印字方向の設定」 22 ページ参照
インクリボンが 破れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙をセットせず印字させた</li> <li>プラテンシート未使用で 0.075mm より薄い紙へ印字させた</li> </ul>	⇒ 「リボンカセットの交換」 40 ページ参照 以後、空印字させない ⇒ 「プラテンシートの 取り付けかた」 8 ページ参照

・以上を点検しても正常にご使用できない場合は、分解・注油などを行わず弊社最寄支店・営業所または弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。

## よくあるご質問 Q & A

Q 1. リボンカセットを交換したら印字が自動で出来なくなっていました。

A 1. 印字方法の設定が間違っています。自動印字の設定に変更してください。(34 ページ参照)

Q 2. 12 時制/24 時制の表示切替えはできますか？

A 2. 表示切り替えボタン (○ボタン) を 3 秒以上押し続けると、時計表示の 12 時制/24 時制の切り替えができます。(4 ページ参照)

Q 3. 表示の時刻は合っているのに印字すると時間がおかしくなってしまいます。

A 3. 印字種類の設定が間違っています。60 進法ではなく 100 進法の設定となっている可能性があります。(18~21 ページ参照)

Q 4. 逆向きで印字されるようになってしまいました。

A 4. 印字方向の選択で逆方向となってしまうています。正方向で印字させるためには、設定を off に変更してください。(22 ページ参照)

Q 5. 同じナンバーを指定回数ずつ印字することはできますか？

A 5. NS-5000 はできません。  
NS-5100 はできます。  
ナンバリングリピート機能を使用すると、最大 9 回同じ数字を印字することができます。  
(30 ページ参照)

Q 6. ナンバーを自動で戻すことはできますか？

A 6. NS-5000 はできません。手動で戻す必要があります。  
NS-5100 はできます。ナンバリング自動機能をご参照ください。(28~29 ページ参照)

Q 7. 印字部分が下がったまま、上がらなくなっていました。

A 7. 上ケースを開け閉めしてください。改善されなければ修理対応となりますので、弊社タイムレコーダー・サポートセンターまでご連絡をお願い致します。

Q 8. 毎日 1 番から印字されていたが、1 番から始まらなくなりました。(NS-5100 のみ)


A 8. ナンバリング自動機能の設定が間違っています。ナンバリング自動機能を on にしてください。(28~29 ページ参照)


Q 9. 黒以外の色のインクカセットはありますか？


A 9. 赤色・青色がありますが、黒色に比べて寿命が短くなります。(45 ページ参照)


## エラーコードと対処法


エラー表示したときは、電源プラグをコンセントから一度抜き、表示器の表示が消えた後、再度コンセントへ差し込みます。回復しない場合は、**弊社最寄支店・営業所または弊社タイムレコーダー・サポートセンター**へご連絡ください。


			
原因	印字開始/終了時にリフトのポジションセンサー（上部/下部）が検出できない。	処置	電源プラグをコンセントから抜き、表示器の表示が消えた後、再度コンセントに差し込む。

			
原因	印字開始時にドットのホームポジションが検出できない。またはドットのホームポジションから抜けない。	処置	電源プラグをコンセントから抜き、表示器の表示が消えた後、再度コンセントに差し込む。

			
原因	印字時のドットタイミングパルスが検出できない。	処置	電源プラグをコンセントから抜き、表示器の表示が消えた後、再度コンセントに差し込む。

			
原因	印字の戻り動作時にドットのホームポジションが検出できない。	処置	電源プラグをコンセントから抜き、表示器の表示が消えた後、再度コンセントに差し込む。

			
原因	プログラム異常によるエラー。	処置	電源プラグをコンセントから抜き、表示器の表示が消えた後、再度コンセントに差し込む。

			
原因	カウンターカウントオーバーエラー カウンターのカウント方法が減算（dn）で、カウンターが000000となっている。	処置	カウンターの設定を変更する

## 10 印字が薄くなってきたら(リボンカセットの交換)

### 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

### 注意



プラグを抜く



高温注意

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ・高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因となることがあります。

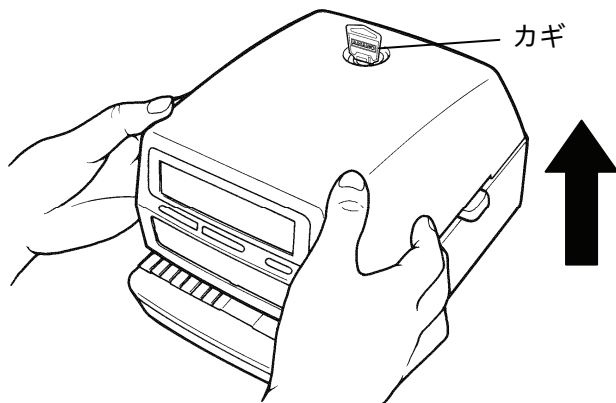
印字が薄くなった場合、リボンカセットを交換してください。

品名：CE-319550（黒色リボン）、青色・赤色もごさいます。（45 ページ参照）

### 1 上ケースを開けます（7 ページ参照）

付属のカギを錠に差し込み、右に 90° 回します。

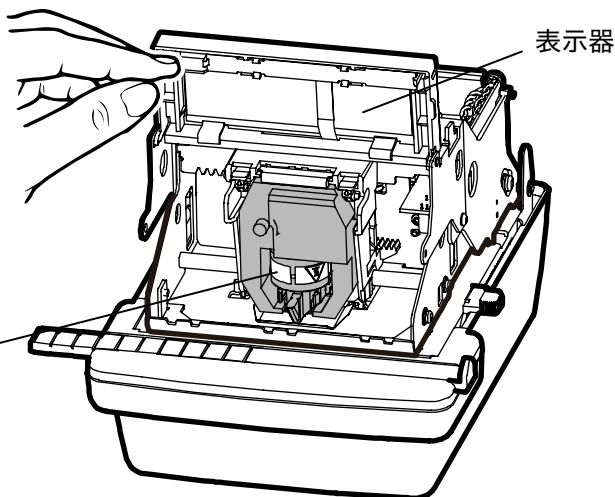
リボンカセットが自動的に中央に移動し、表示は初期画面になります。



### 2 電源プラグを抜きます

### 3 表示器を上を持ち上げます

上ケースを外した後、表示器を上を持ち上げます。



高温注意

印字動作により  
高温になる部分

#### 4 リボンカセットを取り外します。

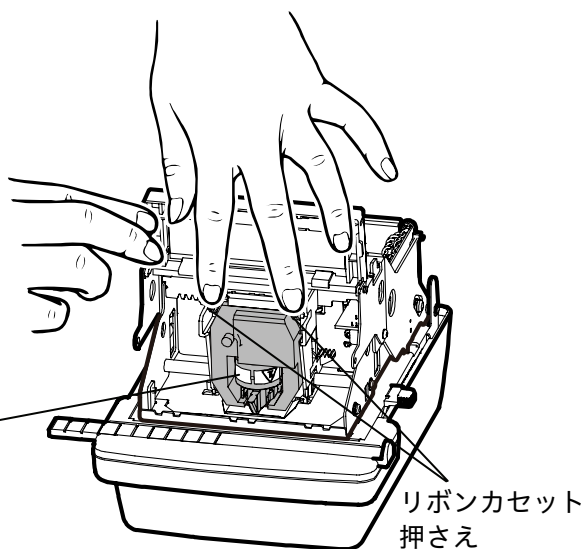
片手でリボンカセット押さえ 2 ヶ所を同時に上に持ち上げたままにします。

もう片方の手でリボンカセットを取り出します。



高温注意

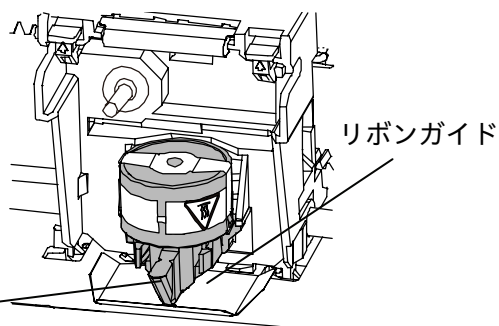
印字動作により  
高温になる部分



#### 5 新しいリボンカセットをセットする

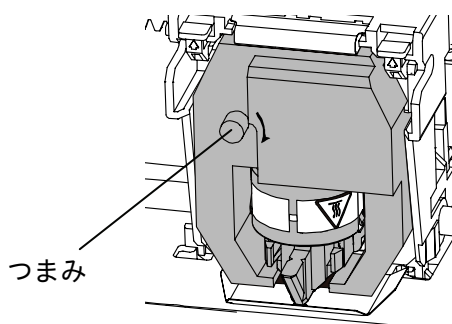
片手でリボン押さえ 2 ヶ所を同時に上に持ち上げたままにします。

もう片方の手でリボンカセットのつまみを手前にし、リボンをドットプリンターヘッドとリボンガイドの間へ通るようにはめ込みます。



#### 6 装着を確認する

リボンカセットのつまみを時計方向に回して、たるみを取ります。



#### 7 表示器を下げ、上ケースを閉めます (7 ページ参照)

#### 8 電源プラグをコンセントに差し込む

## 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。



スプレー禁止

- ・可燃性のスプレー（ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど）を噴霧しない。  
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使用しない。  
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

## 注意



プラグを抜く

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

## 日常のお手入れ

### ■ 普段のお手入れ

ケースの汚れは乾いた柔らかい布（綿・ネルなど）で軽く拭き取ってください。

※硬い布で拭いたり強くこすったりすると、ケースの表面に傷がつきますのでご注意ください。特に窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。（表面は特殊加工されていますので、ご注意ください）

### ■ 汚れがひどいときは

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿・ネルなど）を固くしぼったもので拭き取り、その後、柔らかい乾いた布で乾拭きしてください。

※本体および電源コード類に有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使用しないでください。変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

### ■ 電源プラグも定期的にお手入れ

トラッキング火災防止のため、電源プラグも定期的にお手入れしてください。

（トラッキング火災：差しっぱなしのコンセントにほこりと水分が溜まり、プラグとの間にスパークが発生し、出火するという火災です）

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグについたほこりのお掃除は乾いた手で電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ります。また、コンセントの周辺のほこりも取り除いてください。

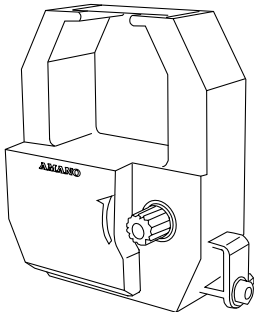
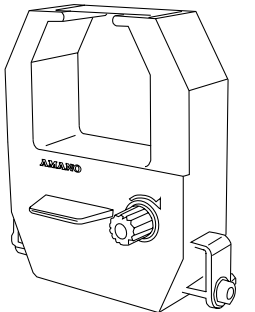
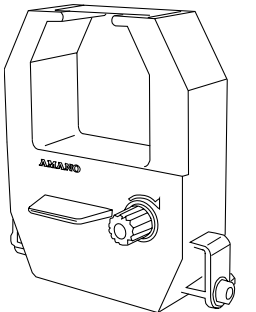


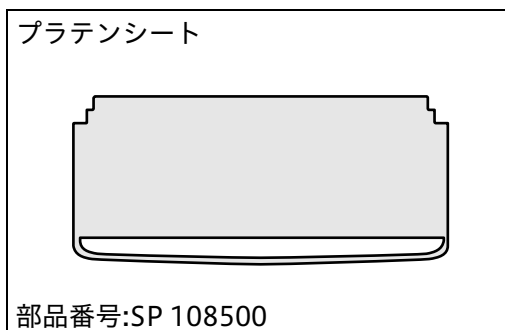
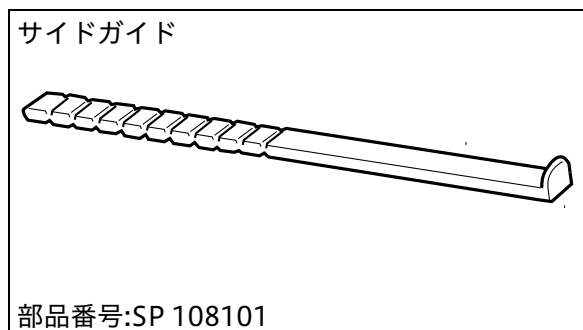
## 製品仕様

使用電源	AC100V±10% (50/60Hz)
消費電力	常時 3W 最大 12W
環境条件	温度 -10℃～45℃
湿度	10%RH～90%RH (結露のないこと)
外形寸法	170 (幅) × 163 (高さ) × 224 (奥行) mm
質量 (重量)	2.9kg
時計	水晶発振式 週差 ± 3 秒以内 (25℃ ± 5℃)
文字	9 ピンドットプリンター方式
印字方式	自動印字 / 手動印字 切り替え可能
停電時印字機能	72 時間以内 200 打刻 (工場出荷オプショ)
メモリー保持機能	時計・設定内容に対して工場出荷時より累計停電 3 年間
用紙	紙厚 最大 1mm (0.075mm より薄い用紙に印字する場合にはプラテンシート使用のこと)
複写枚数	感圧紙は 5 枚複写まで可能 カーボン紙は 6 枚複写まで可能
印字可能範囲	横方向：15～116mm (サイドガイド使用時) ※サイドガイド未使用の場合は制限はありません。 縦方向：16～85mm (自動印字) 2～85mm (手動印字) いずれも、印字用紙の端から印字中心までの距離とします。

## 消耗品・別売品

■デザイン・仕様は予告なく変更することがございます。

<p>品名:CE-319550 黒色リボン</p>  <p>JAN コード:4946267120562</p>	<p>品名:YK-629570 青色リボン</p>  <p>JAN コード:4946267120371</p>	<p>品名:YK-629670 赤色リボン</p>  <p>JAN コード:4946267120388</p>
--	--	---



# 製品保証とアフターサービス

本機の無償製品保証サービスは、製品保証登録をして頂くことではじめて有効になります。  
ご購入後、インターネットの弊社の製品保証登録サイトからご購入機器の情報をご登録ください。

## 製品保証サービスについて

---

### ■保証期間について

保証期間の間に故障した場合には、保証登録の上、お買い上げの販売店もしくは弊社メンテナンスセンター・支店・営業所にご購入日が確認できる書類（レシートなど）をご用意いただき、修理をご依頼ください。保証期間は、購入日より1年間です。

### ■保証期間内でも次のような場合は有償になります。

- (1) 保証登録のない場合。あるいは、保証登録の所定事項の未記入や字句を書き換えられたもの及びご購入日が確認できる書類（レシートなど）のないとき。
- (2) 誤った使いかたまたは、改造や不当な修理による故障及び損傷。
- (3) 火災・地震その他の天災地変による故障及び損傷。
- (4) 異常電圧、害虫(ゴキブリなど)による故障及び損傷。
- (5) 一度取り付けた後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
- (6) 出張しておこなう取扱説明、設定、時計調整、締日の変更や機械故障以外の調整あるいは、リボンカセットなど消耗品の交換、修理、点検、お引取りが発生した場合。
- (7) アマノ製品以外の消耗品(タイムカード・リボンカセットなど)の使用に起因して生じた本体の損傷、故障及び障害。
- (8) 製品に貼付しているラベルまたはプレートを毀損、または剥がすなど製品の商品名または製造番号を判別不能または判別困難としているとき。

## 保証期間経過後の修理

---

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理させていただきます。

※本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。

日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。





本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地  
<https://www.amano.co.jp/>

## ■タイムレコーダー サポート&サービス

---

取扱説明書、お問い合わせ、チャットボットのご利用は  
こちらからご確認ください。

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.htm>

